

株式会社椿本チエイン

2022年3月期 通期決算報告

<アジェンダ>

説明内容	説明者	予定時間
・ 2022年3月期 連結業績報告、 2023年3月期 連結業績予想 およびトピックス	代表取締役社長 古世 憲二	40分
・ 質疑応答	社長、各事業統括、 財務担当役員	20分

2022年5月27日

2022年3月期 連結業績報告

1. 22年3月期比^① 連結決算ハイライト

2

■ 前期比で増収増益。営業利益率は8.3%に改善

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比	予想比（10月29日公表）	
	通期実績	通期実績	増減率	予想値	増減率
売 上 高	193,399	215,879	11.6%	211,000	2.3%
営 業 利 益	8,896	17,842	100.5%	15,000	19.0%
営業利益率	4.6%	8.3%		7.1%	
経 常 利 益	11,026	20,045	81.8%	16,500	21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,706	14,543	67.0%	11,900	22.2%
1株当たり当期純利益	235.23円	392.88円		321.47円	—
（為替レート 1USD）	106.10円	112.40円		111.00円	—
（為替レート 1EUR）	123.76円	130.55円		130.00円	—
（為替レート 1RMB）	15.48円	17.04円		16.50円	—

	通期実績	通期実績	
自己資本利益率(ROE)	4.8%	7.4%	当期純利益/期中平均自己資本

2. 22年3月期比^{※1} 事業セグメント別業績

3

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期	前期比	予想比（10月29日公表）	
		通期実績	通期実績	増減率	予想値	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	61,312	74,174	21.0%	70,000	6.0%
	営業利益	7,862	11,005	40.0%	9,100	20.9%
	営業利益率	12.8%	14.8%		13.0%	
モーション コントロール	売上高 ^{※注1}	18,024	19,906	10.4%	20,800	▲ 4.3%
	営業利益	747	1,129	51.1%	1,100	2.6%
	営業利益率	4.1%	5.7%		5.3%	
モビリティ	売上高 ^{※注1}	59,450	66,027	11.1%	65,800	0.3%
	営業利益	3,782	6,568	73.6%	5,900	11.3%
	営業利益率	6.4%	9.9%		9.0%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	53,618	55,728	3.9%	55,000	1.3%
	営業利益	▲ 2,202	799	—	600	33.2%
	営業利益率	—	1.4%		1.1%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,941	3,074	▲ 22.0%	2,500	23.0%
	営業利益	▲ 330	▲ 442	—	▲ 400	—
	営業利益率	—	—		—	

※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

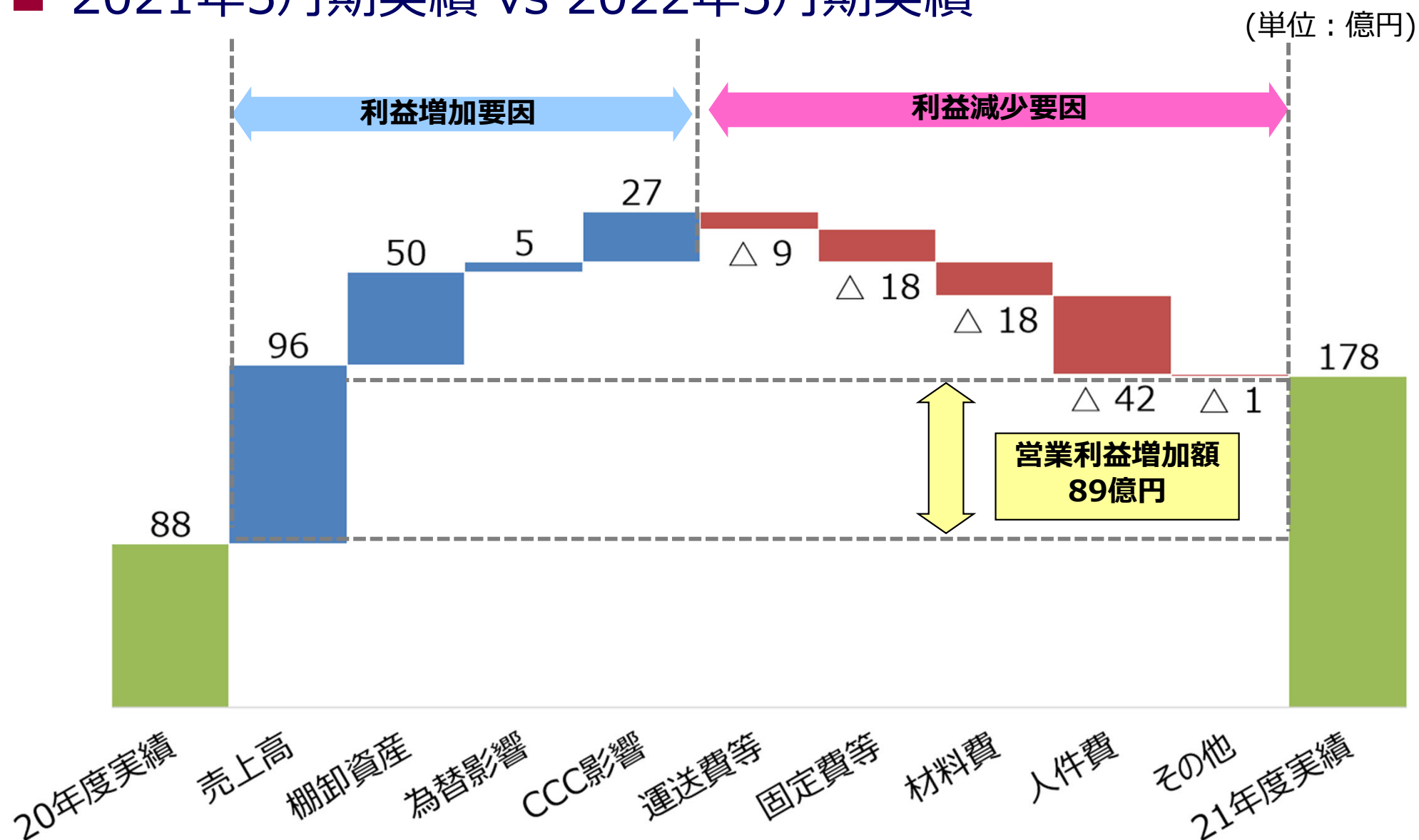
※2：「その他」は、報告セグメントではありません。

※3：22年3月期より従来モーションコントロールに含めていたビジネスの一部をモビリティ事業に移管しております。前期も当該変更を反映しております。

3. 連結営業利益増減要因分析

4

■ 2021年3月期実績 vs 2022年3月期実績

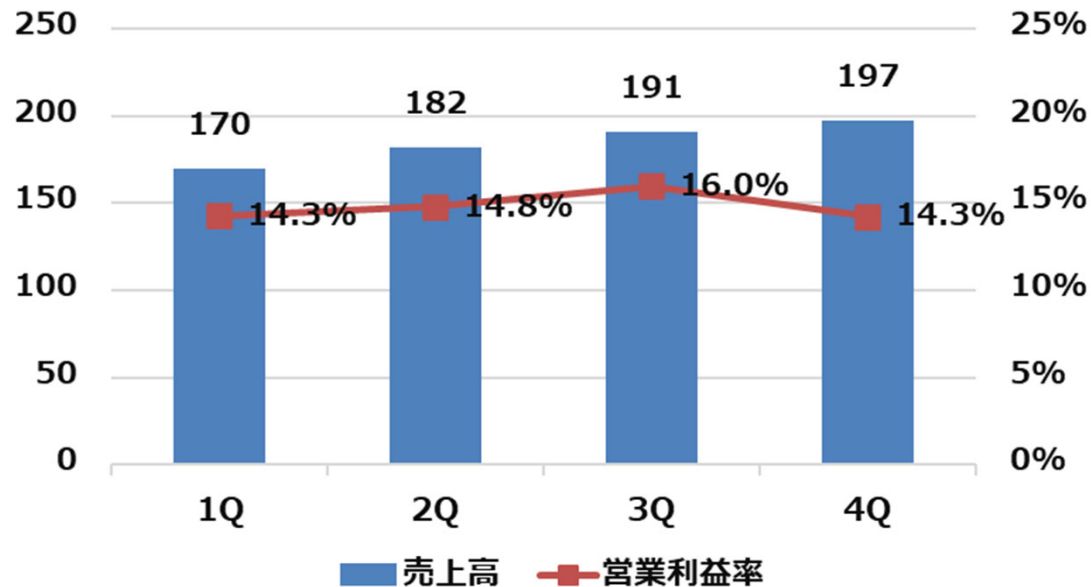


4. 22年3月期比¹⁾ 事業セグメント別業績

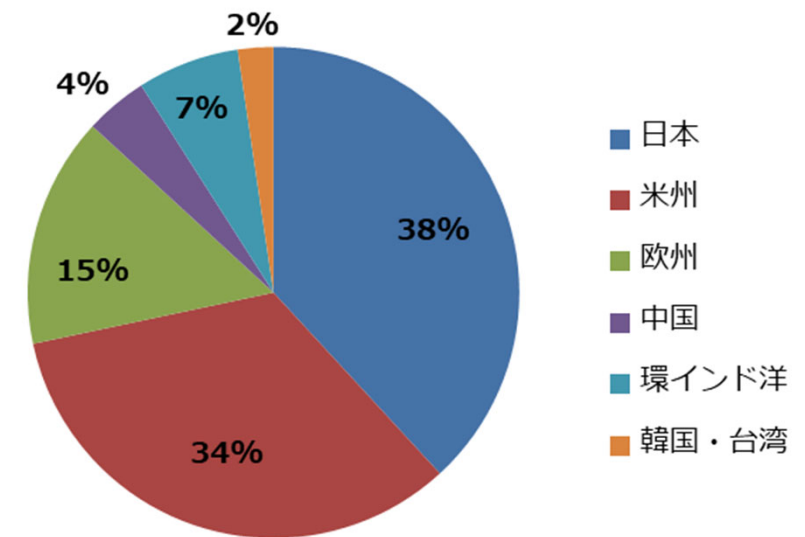
〈チェーン〉 5

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

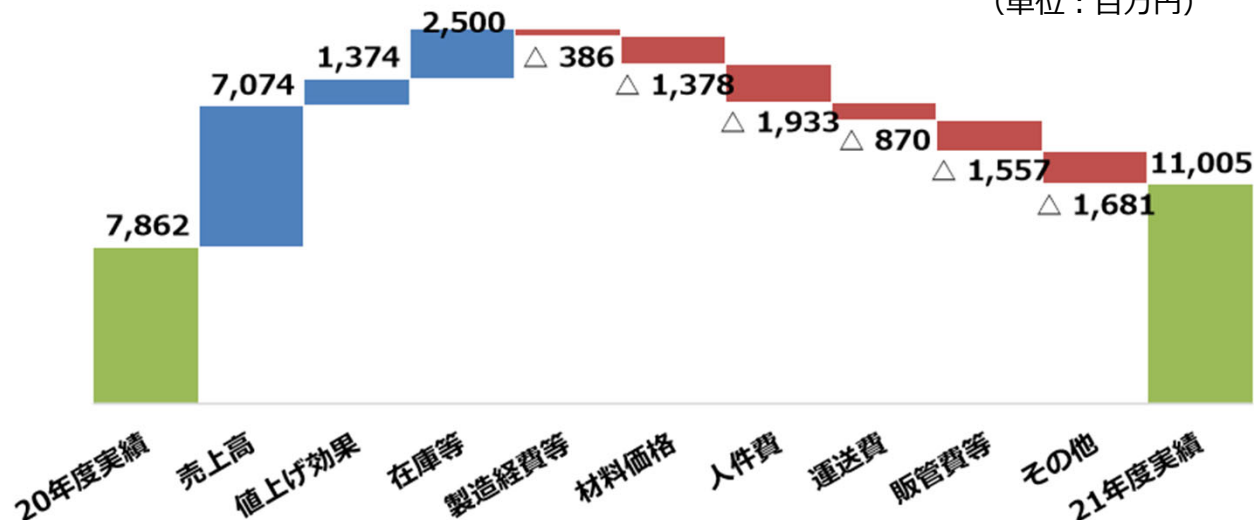


売上高占有率 (地域別)



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〔前期比〕

- すべての地域において需要旺盛、増収。とくに北米における販売が好調。輸送コストの上昇や北米における人件費の高騰等はあるものの、販売好調、コスト削減により増益。

〔予想比〕

- 販売好調により増収増益。

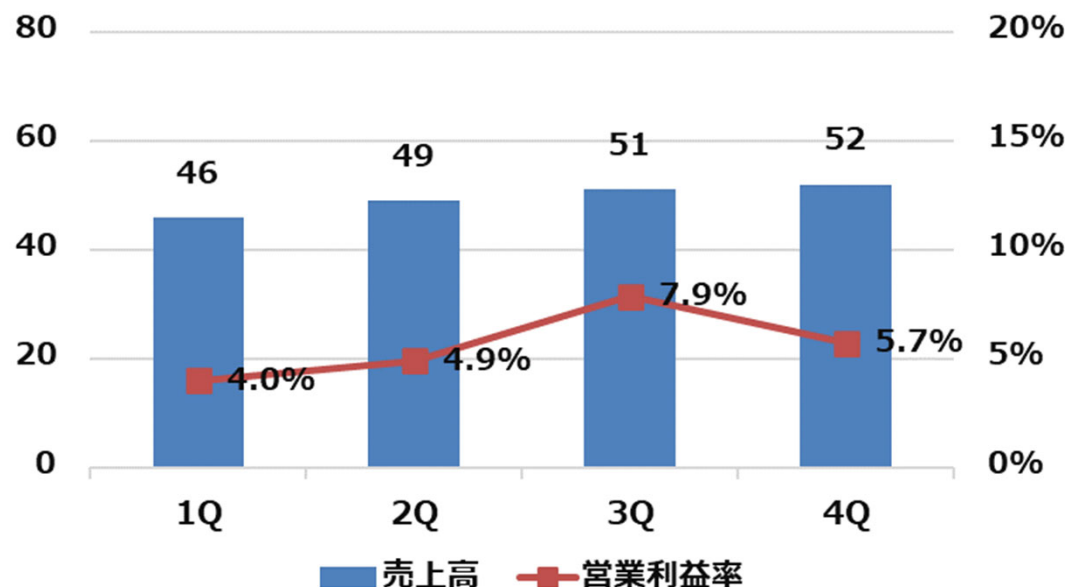
4. 22年3月期比¹⁾ 事業セグメント別業績

〈MC〉

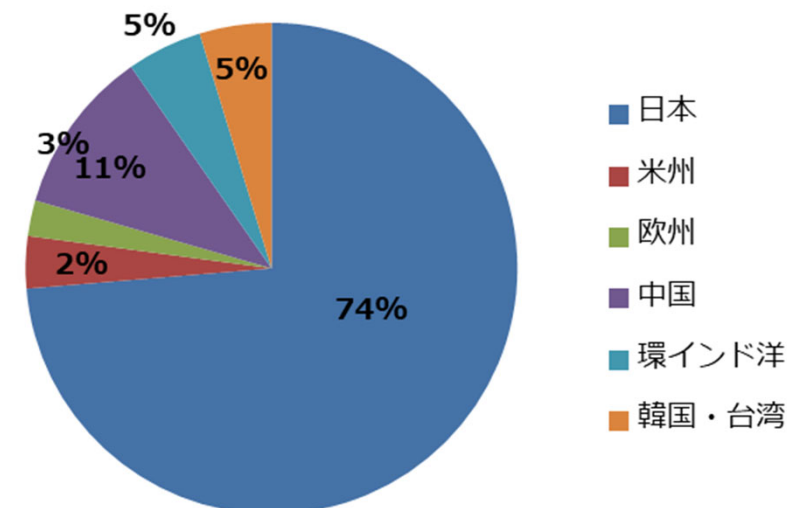
6

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

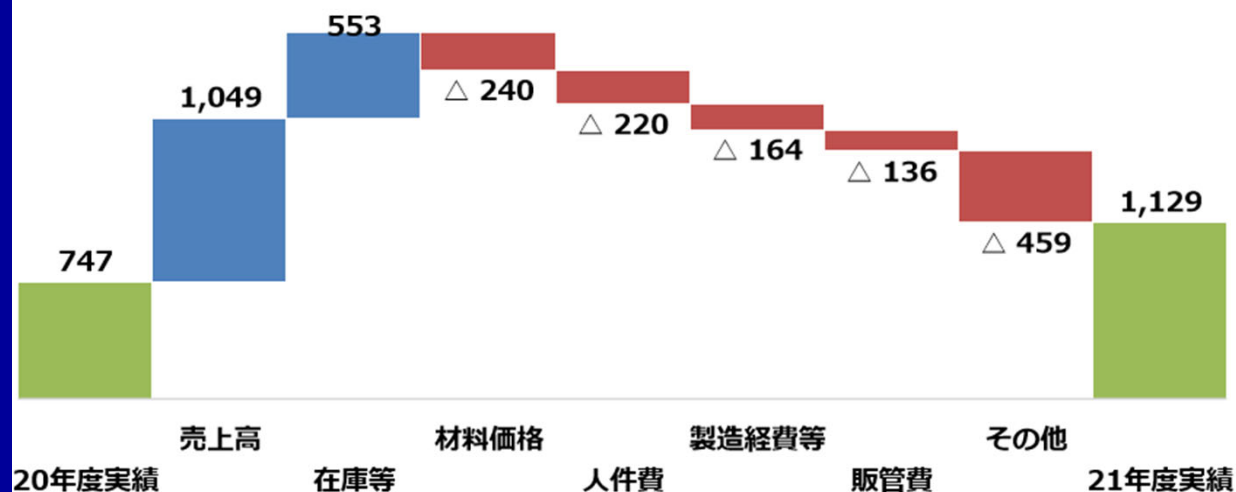


売上高占有率（地域別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〔前期比〕

- ・ 環インド洋を除くすべての地域において需要回復。日本は工作機械、半導体業界が堅調に推移。

〔予想比〕

- ・ 部品調達問題長期化により減収もコスト削減に努め微増益。

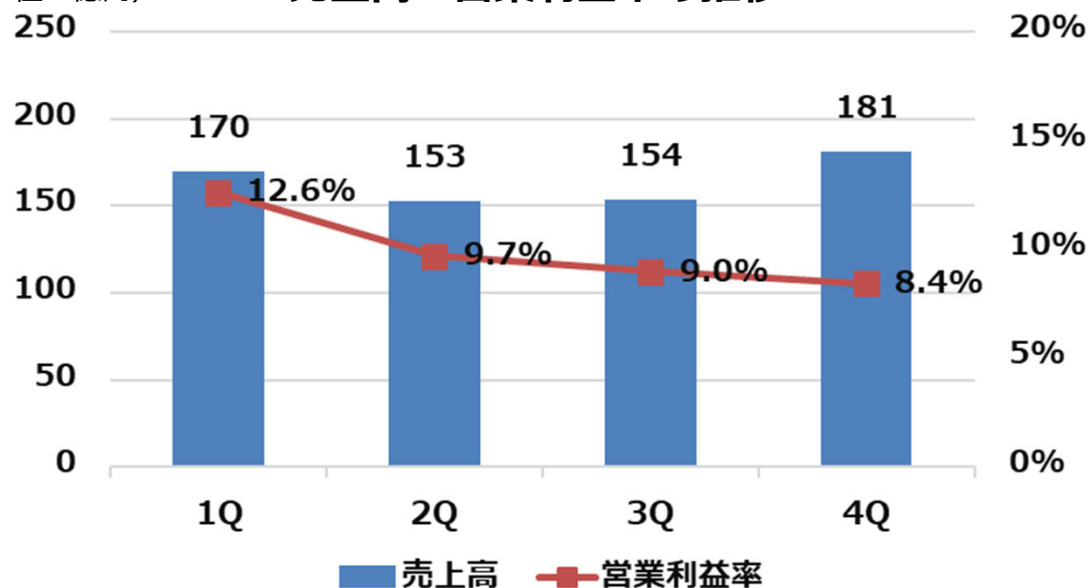
4. 22年3月期比¹⁾ 事業セグメント別業績

〈Mob〉

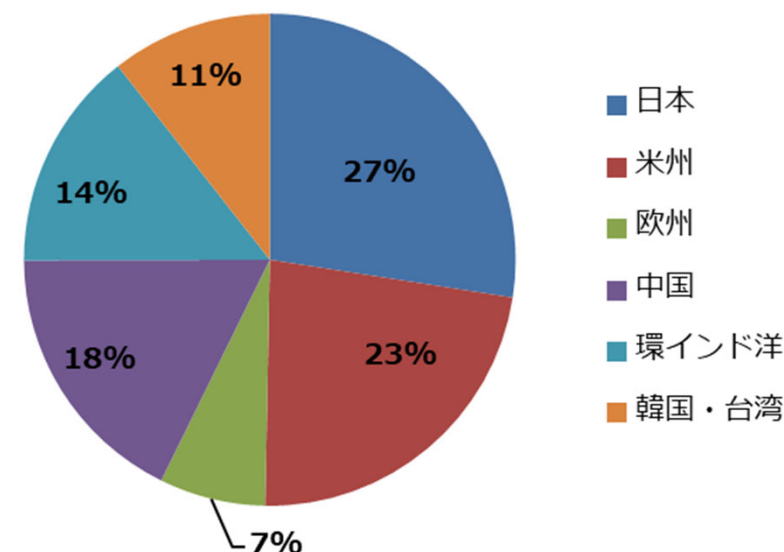
7

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

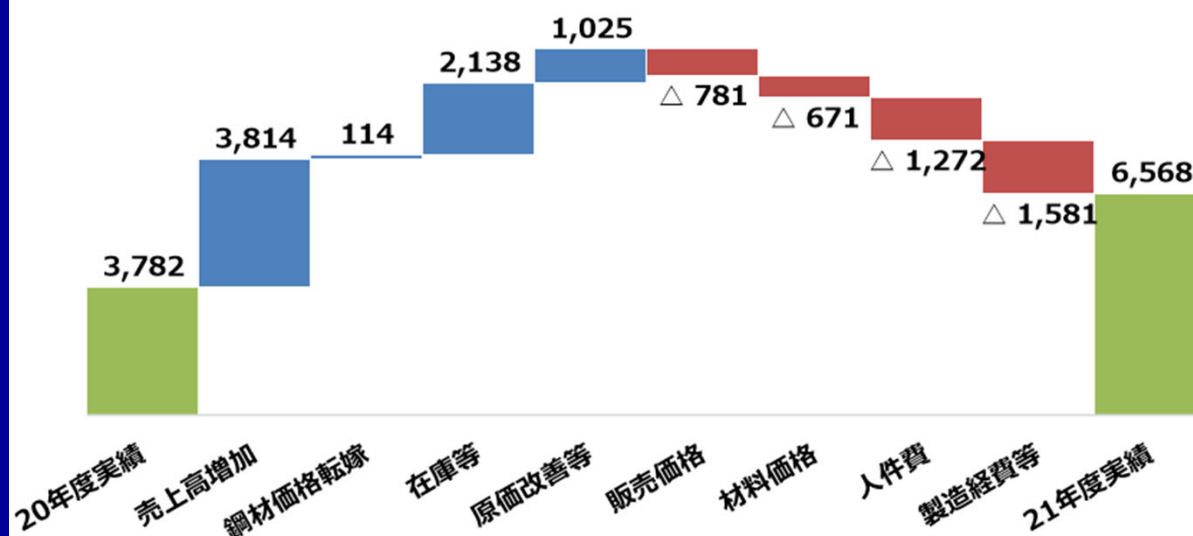


売上高占有率（地域別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〔前期比〕

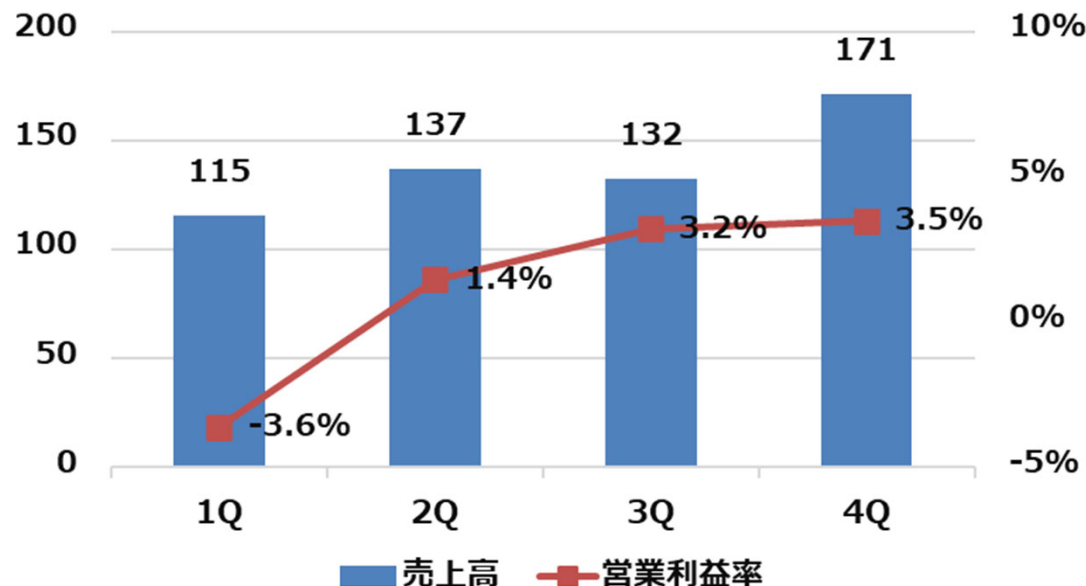
- ・自動車生産台数の回復により増収。
- ・鋼材価格上昇や北米における人件費高騰影響があるものの、コスト削減につとめ増益。

〔予想比〕

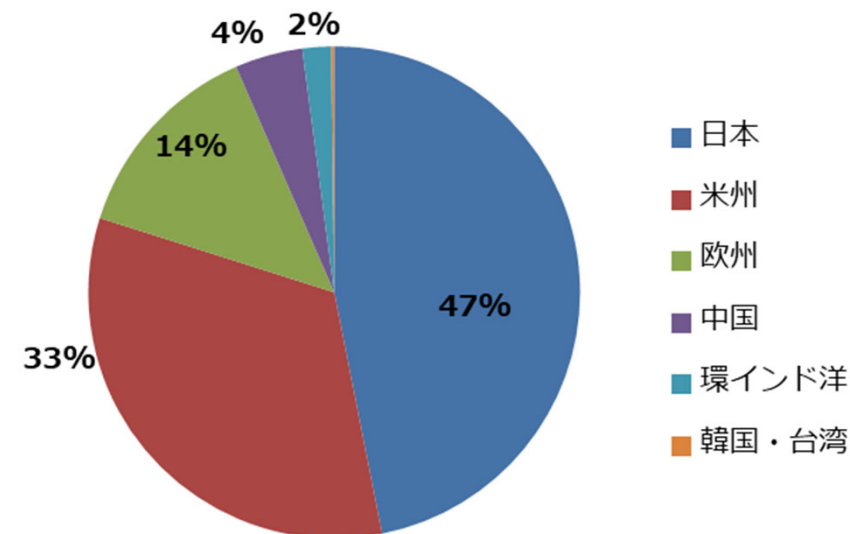
- ・半導体不足影響の長期化はあるものの、売上高はほぼ想定どおり。材料価格上昇を想定より抑え込み増益。

(単位：億円)

売上高・営業利益率の推移

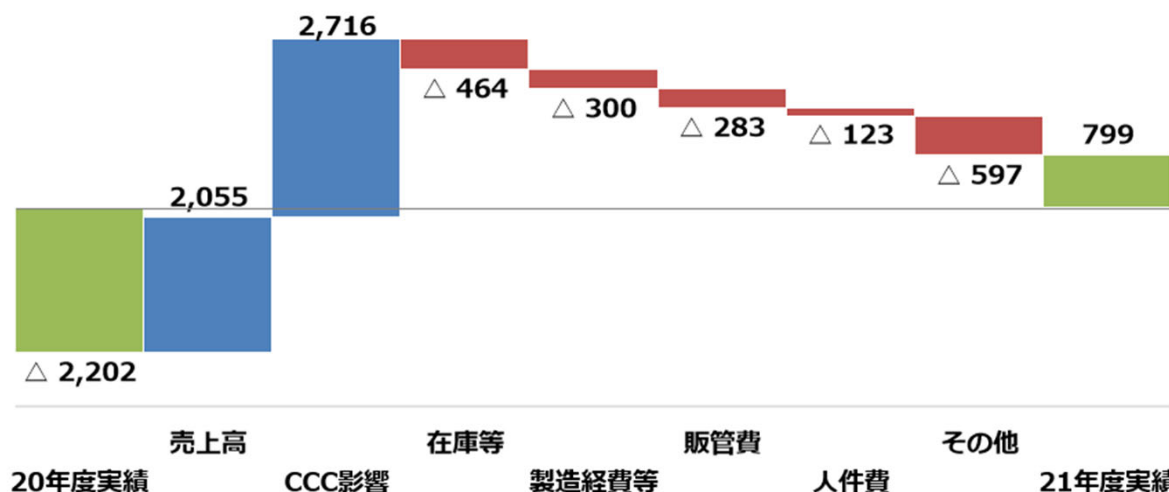


売上高占有率（地域別）



〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〔前期比〕

- ・国内での自動仕分け機やライフサイエンス分野向けシステムの販売好調により増収。
- ・日本での売上高増のほか、米州での追加工事費用の減少などから増益。

〔予想比〕

- ・国内での粉粒体搬送設備の販売堅調等により増収増益。

5. 22年3月期比^{※1}- 所在地別業績

9

(単位：百万円)

		2021年3月期	2022年3月期	前期比
		通期実績	通期実績	増減率
米 州	売上高 ^{※注}	53,473	59,484	11.2%
	営業利益	▲ 666	3,026	—
	営業利益率	—	5.1%	
欧 州	売上高 ^{※注}	20,267	24,409	20.4%
	営業利益	897	1,255	40.0%
	営業利益率	4.4%	5.1%	
環インド洋	売上高 ^{※注}	12,752	16,539	29.7%
	営業利益	1,215	1,970	62.1%
	営業利益率	9.5%	11.9%	
中 国	売上高 ^{※注}	19,682	22,311	13.4%
	営業利益	1,280	1,686	31.7%
	営業利益率	6.5%	7.6%	
韓国・台湾	売上高 ^{※注}	8,054	10,019	24.4%
	営業利益	▲ 47	312	—
	営業利益率	—	3.1%	
日 本	売上高 ^{※注}	104,416	118,089	13.1%
	営業利益	4,577	8,772	91.6%
	営業利益率	4.4%	7.4%	

※注：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

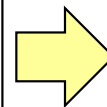
<主な実績レート>

	USD	EUR	CAD	AUD	THB	TWD	RMB	KRW	MXN
2021年3月期	106.10	123.76	80.34	76.20	3.42	3.66	15.48	0.09	4.99
2022年3月期	112.40	130.55	89.65	83.06	3.44	4.02	17.04	0.10	5.41

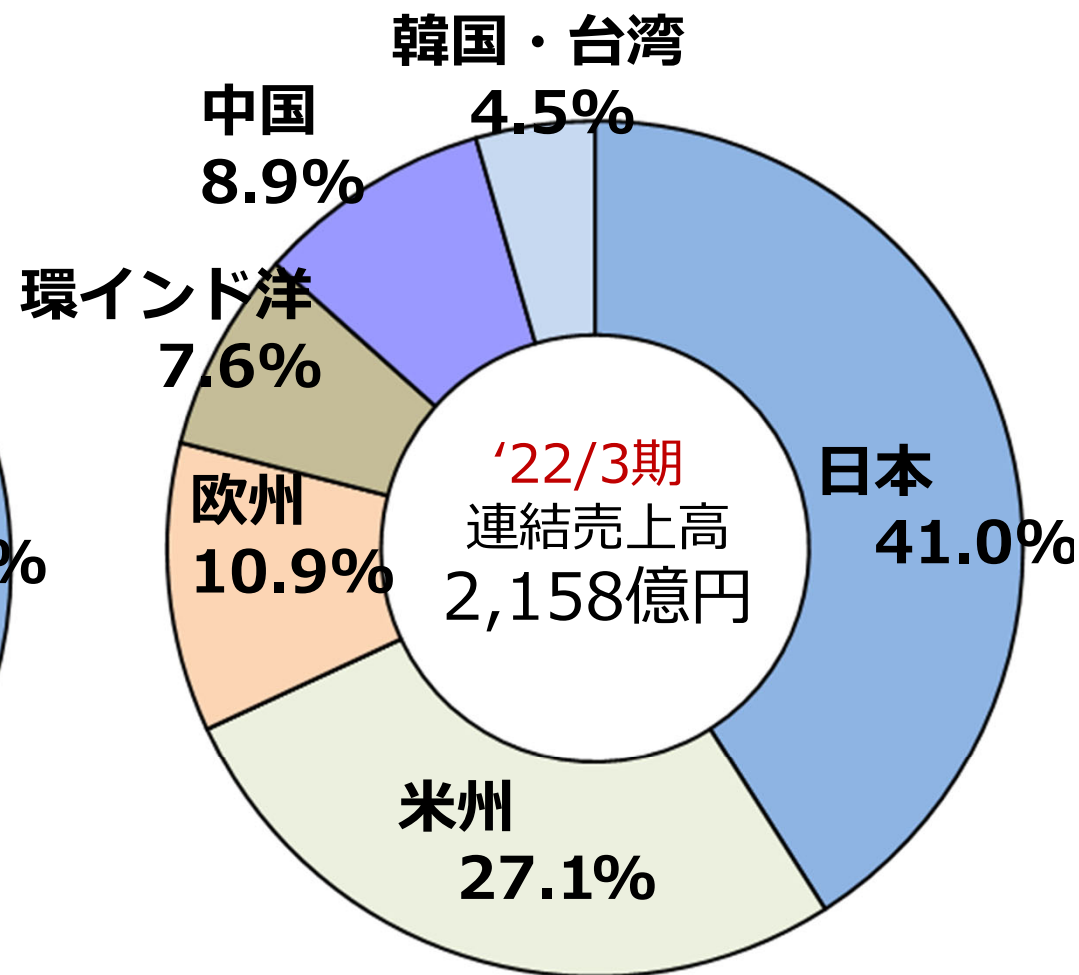
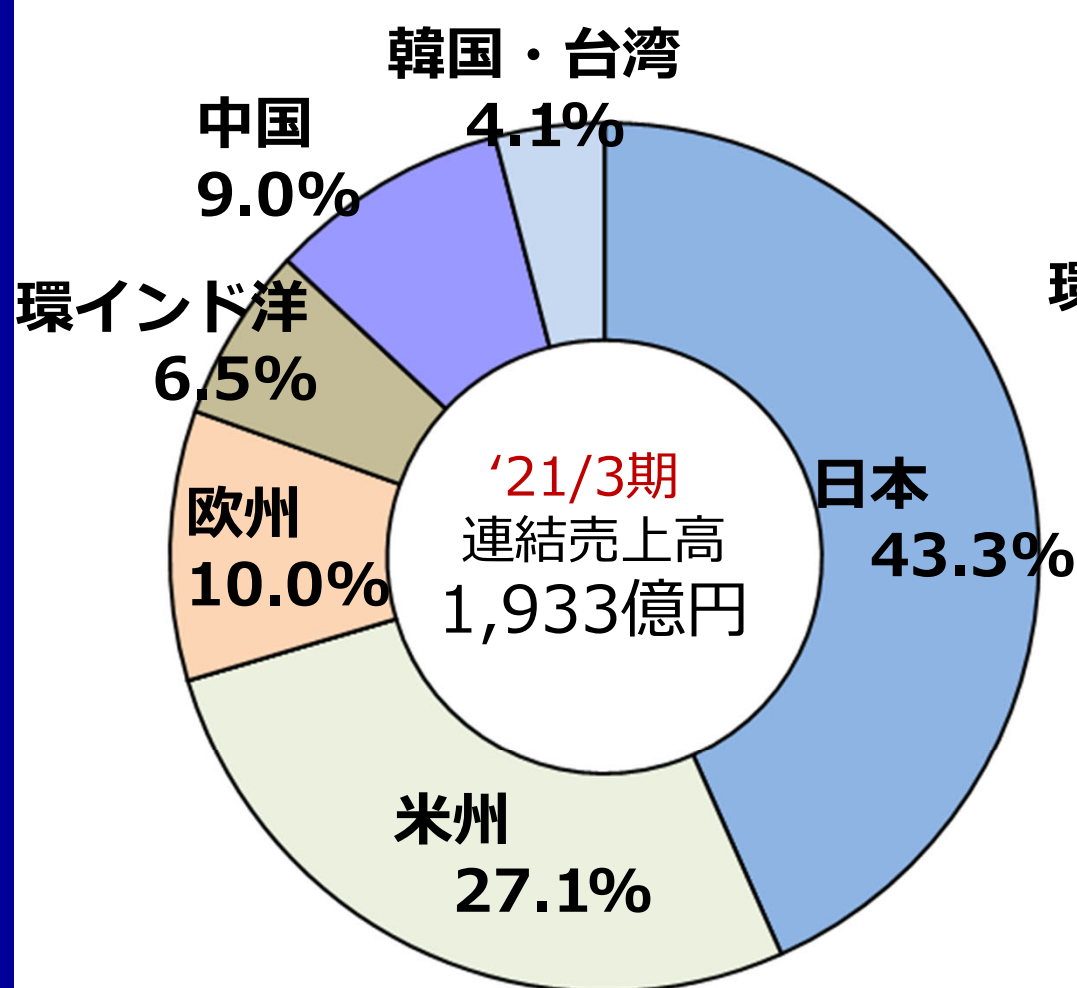
6. 22年3月期比^①- 地域別売上高比率

10

2021年3月期
海外売上高※比率：56.7%



2022年3月期
海外売上高※比率：59.0%



※売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

2023年3月期 連結業績予想

◇ パワトラ事業統括

- ① パワトラ東アジア営業統括をパワトラ営業統括に改称
 - ・ 新ビジネス開発統括を新設
 - － 新ビジネス開発部、直線作動ビジネス開発部を新設
- ② チェーン事業部に、モノづくり改革部を新設

◇ モビリティ事業統括

- ① タイミングシステム統括、eモビリティ統括に改編

◇ マテハン事業統括

- ① 再生医療プロジェクト、メンテ改革プロジェクトを新設

◇ その他本社部門

- ① DXビジネス担当を新設
 - ・ モニタリングビジネス部をDXビジネス部に改称
- ② 新事業開発室を新設

8. 23年3月期 連結業績予想

13

- 全事業で増収増益を計画。半導体不足や部品調達問題の長期化、鋼材価格などのコスト増はあるも、営業利益は200億円を予想。

(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期			前期比
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
売上高	215,879	117,000	123,000	240,000	11.2%
営業利益	17,842	8,600	11,400	20,000	12.1%
営業利益率	8.3%	7.4%	9.3%	8.3%	
経常利益	20,045	9,200	11,400	20,600	2.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,543	6,800	8,100	14,900	2.5%
1株当たり当期純利益	392.88円	183.69円	218.81円	402.50円	—
(為替レート 1USD)	112.40円			120.00円	—
(為替レート 1EUR)	130.55円			135.00円	—
(為替レート 1RMB)	17.04円			18.90円	—

9. 23年3月期 事業セグメント別業績予想

14

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高 ^{※注1}	74,174	38,000	38,000	76,000	2.5%
	営業利益	11,005	5,400	5,100	10,500	▲4.6%
	営業利益率	14.8%	14.2%	13.4%	13.8%	
モーション コントロール	売上高 ^{※注1}	19,906	11,000	12,000	23,000	15.5%
	営業利益	1,129	700	1,300	2,000	77.1%
	営業利益率	5.7%	6.4%	10.8%	8.7%	
モビリティ	売上高 ^{※注1}	66,027	38,000	40,000	78,000	18.1%
	営業利益	6,568	3,200	4,600	7,800	18.8%
	営業利益率	9.9%	8.4%	11.5%	10.0%	
マテハン	売上高 ^{※注1}	55,728	30,000	34,000	64,000	14.8%
	営業利益	799	300	1,300	1,600	100.3%
	営業利益率	1.4%	1.0%	3.8%	2.5%	
その他 ^{※注2}	売上高 ^{※注1}	3,074	1,000	1,000	2,000	▲34.9%
	営業利益	▲ 442	▲ 300	▲ 200	▲ 500	—
	営業利益率	—	—	—	—	

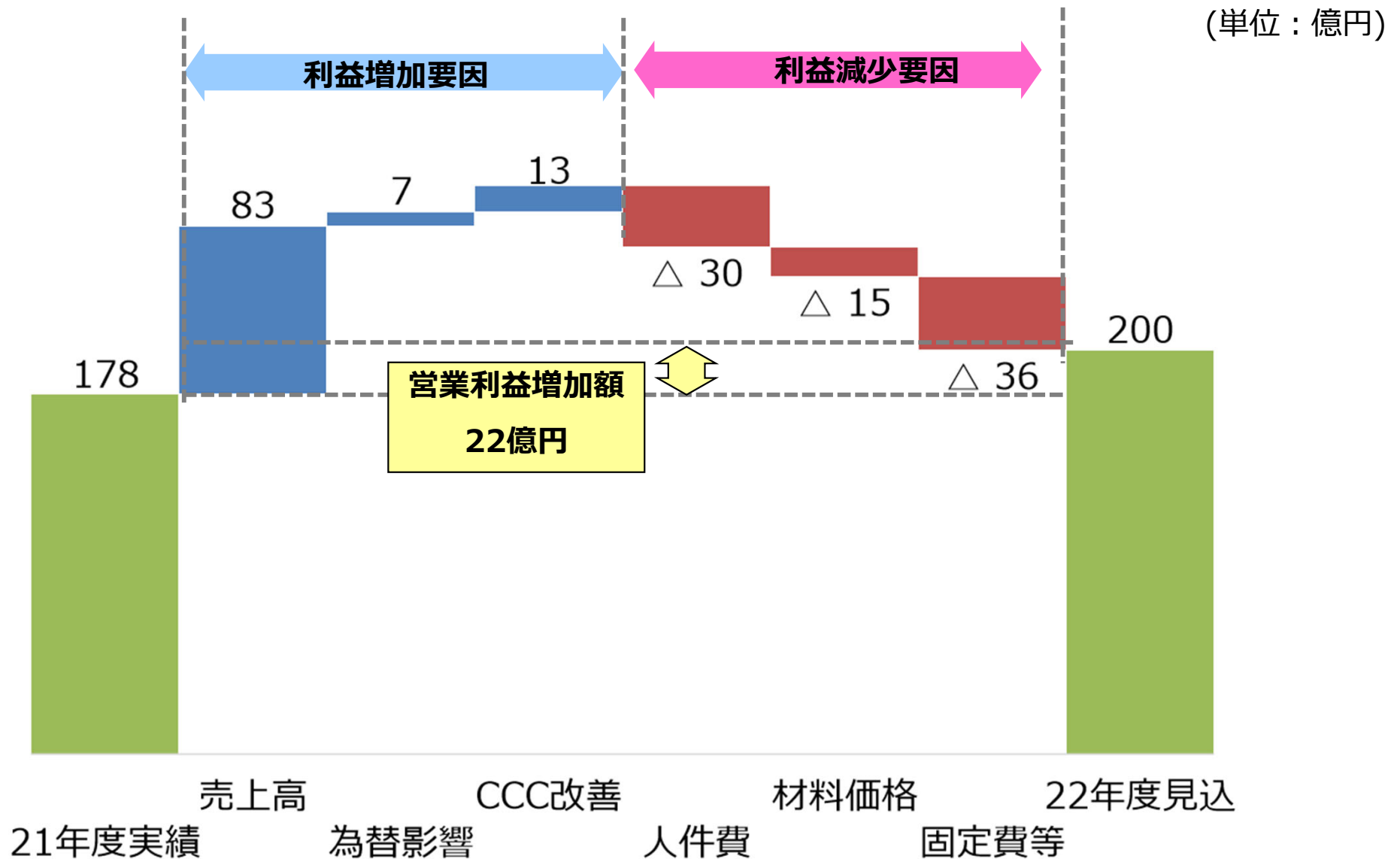
※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

※2：「その他」は、報告セグメントではありません。

10. 23年3月期 連結営業利益増減要因分析

15

■ 2022年3月期実績 vs 2023年3月期予想



11. 23年3月期 事業セグメント別業績予想 〈チェーン〉 16

※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
チェーン	売上高※注1	74,174	38,000	38,000	76,000	2.5%
	営業利益	11,005	5,400	5,100	10,500	▲4.6%
	営業利益率	14.8%	14.2%	13.4%	13.8%	

(単位：百万円)

〈営業利益の増減要因〉



〈売上高〉

- ・受注残高は高い水準にあるものの、特需要因もあった海外需要が一服、ほぼ前年並みを想定。

〈営業利益〉

- ・生産改善活動を継続して実施するものの、鋼材価格の上昇のほか、特に北米における人件費の高騰によりコスト増、減益を想定。

11. 23年3月期 事業セグメント別業績予想〈MC〉

17

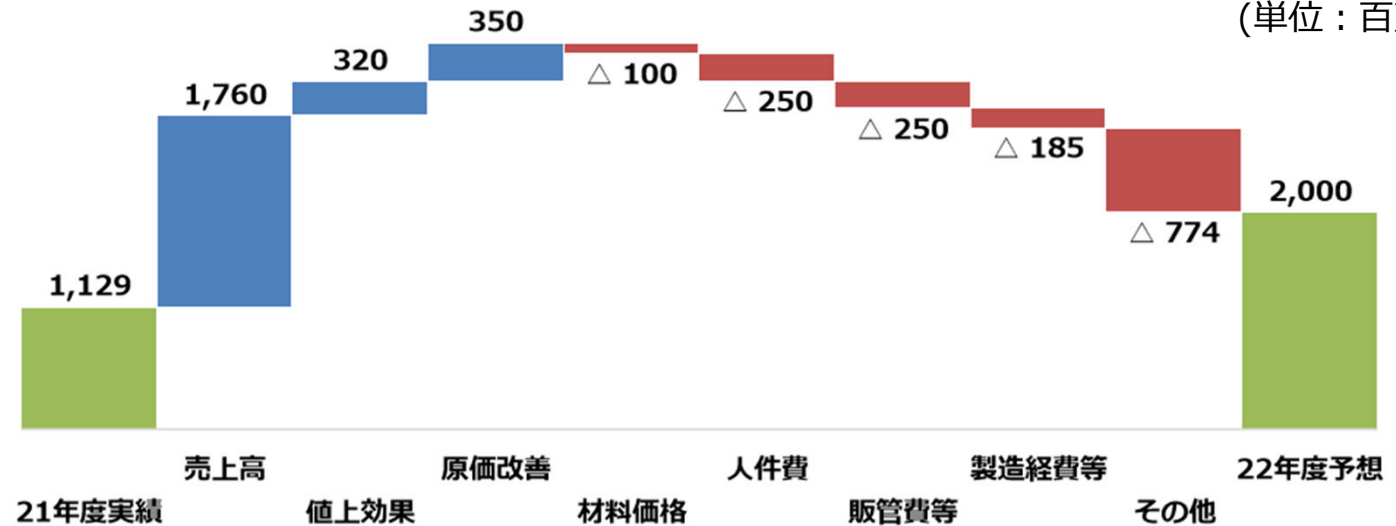
※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
モーショントロール	売上高※注1	19,906	11,000	12,000	23,000	15.5%
	営業利益	1,129	700	1,300	2,000	77.1%
	営業利益率	5.7%	6.4%	10.8%	8.7%	

〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〈売上高〉

- ・部品調達問題が上期は継続するため回復は緩やかながらも増収を想定。

〈営業利益〉

- ・部品調達コスト増はあるものの、生産改善活動の継続実施などにより、増益を予想。

11. 23年3月期 事業セグメント別業績予想〈Mob〉

18

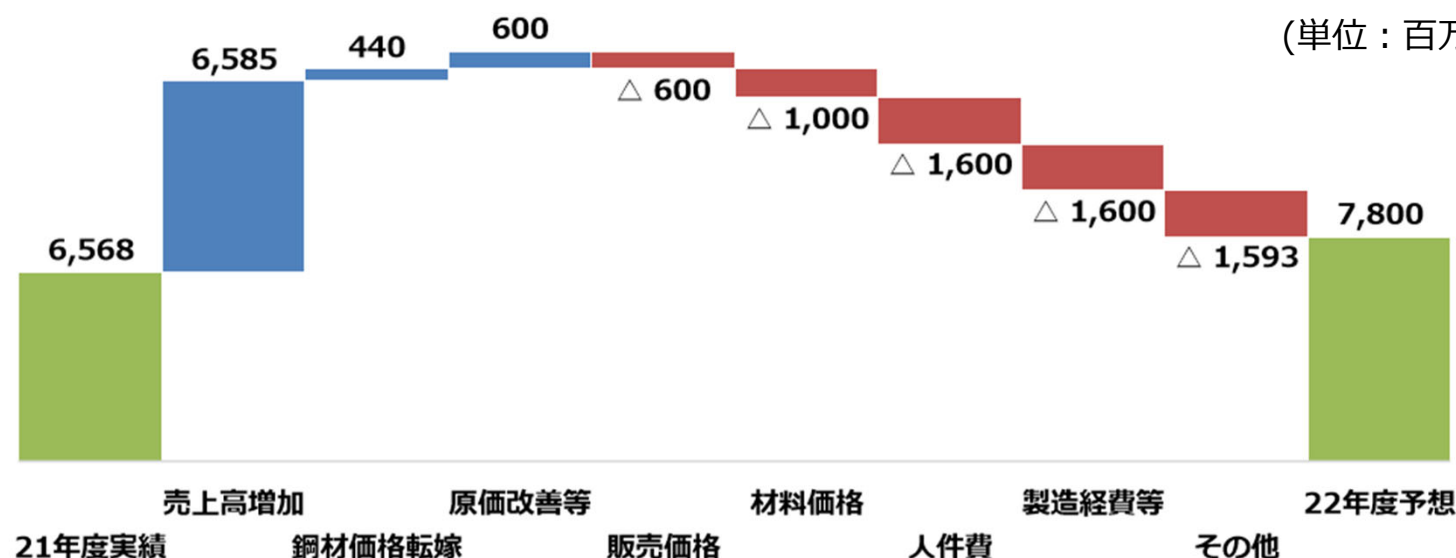
※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期			前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	増減率
モビリティ	売上高※注1	66,027	38,000	40,000	78,000	18.1%
	営業利益	6,568	3,200	4,600	7,800	18.8%
	営業利益率	9.9%	8.4%	11.5%	10.0%	

〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〈売上高〉

- ・日本、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国の全拠点で回復を見込む。

〈営業利益〉

- ・売上高の回復により増益も、鋼材価格の上昇、北米における人件費の高騰等により、利益率はほぼ前年並みと想定。

11. 23年3月期 事業セグメント別業績予想 〈マテハン〉19

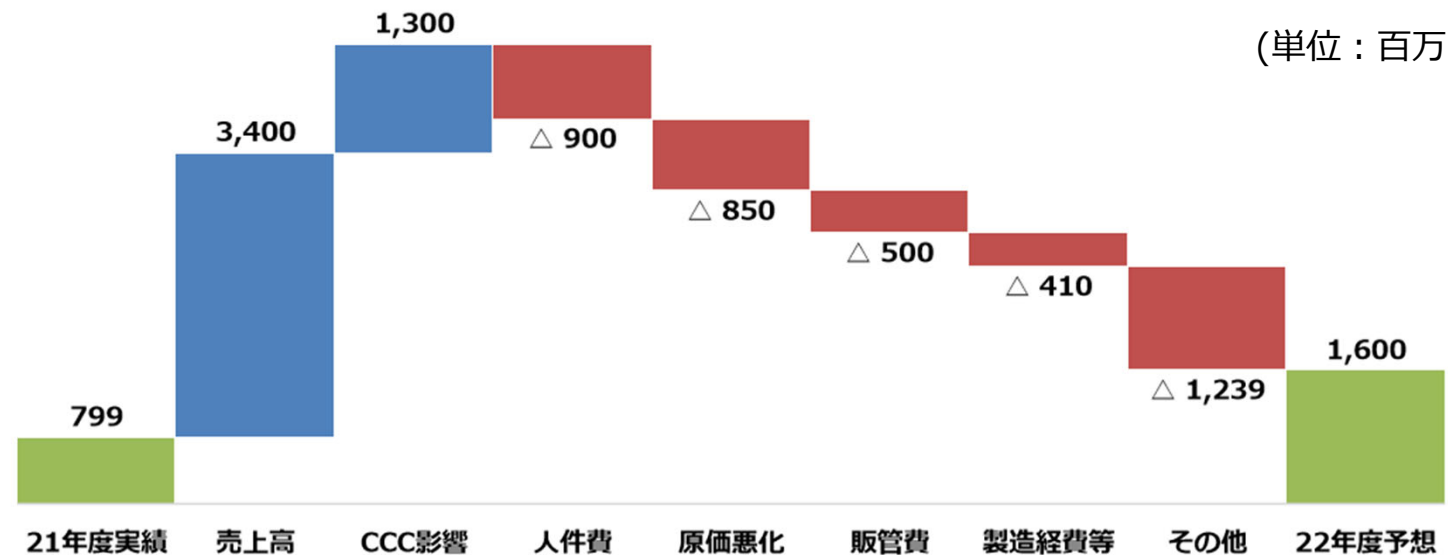
※1：売上高の数値には、「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含みます。

(単位：百万円)

		2022年3月期	2023年3月期				前期比
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想		増減率
マテハン	売上高※注1	55,728	30,000	34,000	64,000		14.8%
	営業利益	799	300	1,300	1,600		100.3%
	営業利益率	1.4%	1.0%	3.8%	2.5%		

〈営業利益の増減要因〉

(単位：百万円)



〈売上高〉

- ・各エリアでの販売増加により増収を想定。

〈営業利益〉

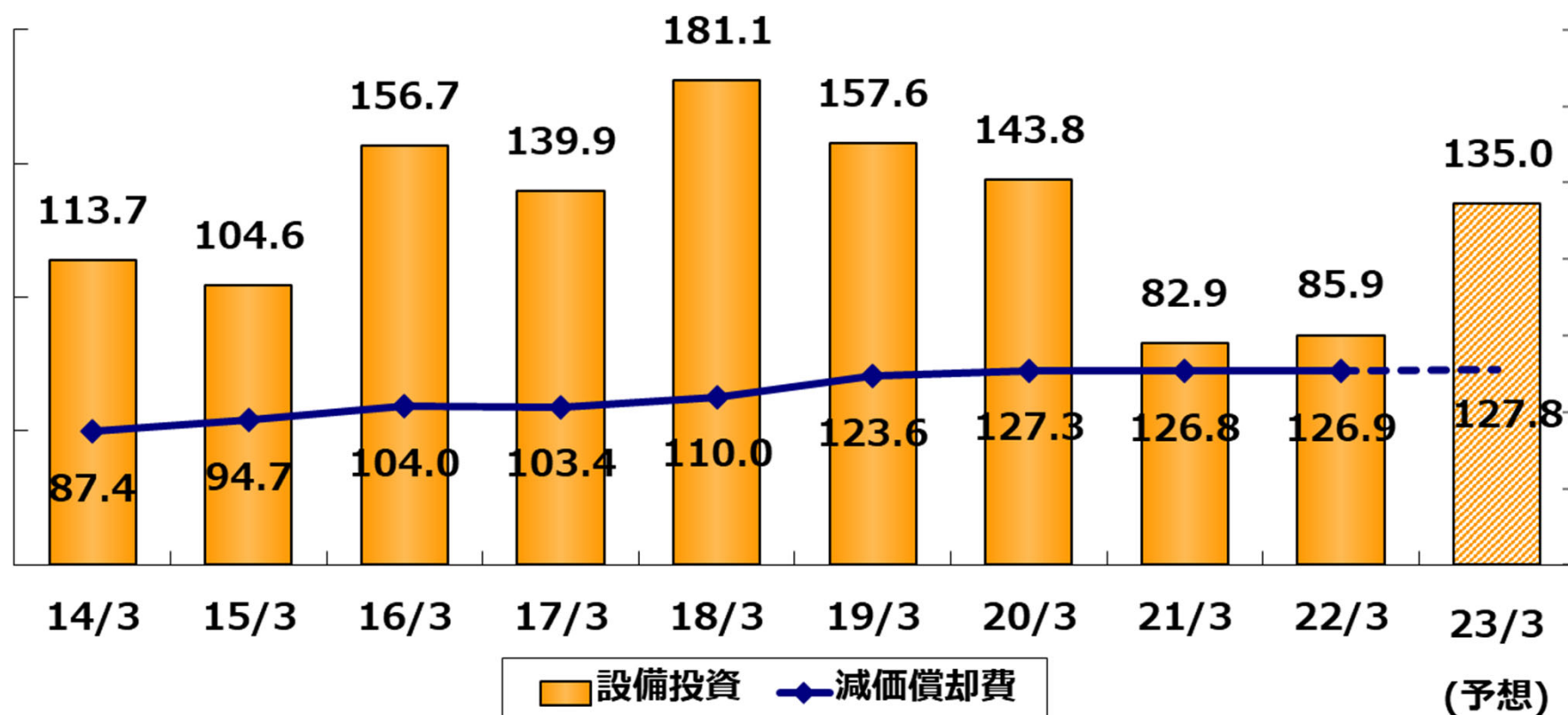
- ・マテハン事業部（樺本チエイン単体）は新ビジネスへの積極投資により減益も、米州の赤字減少により増収を想定。

■ 成長力強化に向けた「資本投入」

- ・ 生産体制の自動化・効率化投資（全事業）

< 設備投資と減価償却費の推移 >

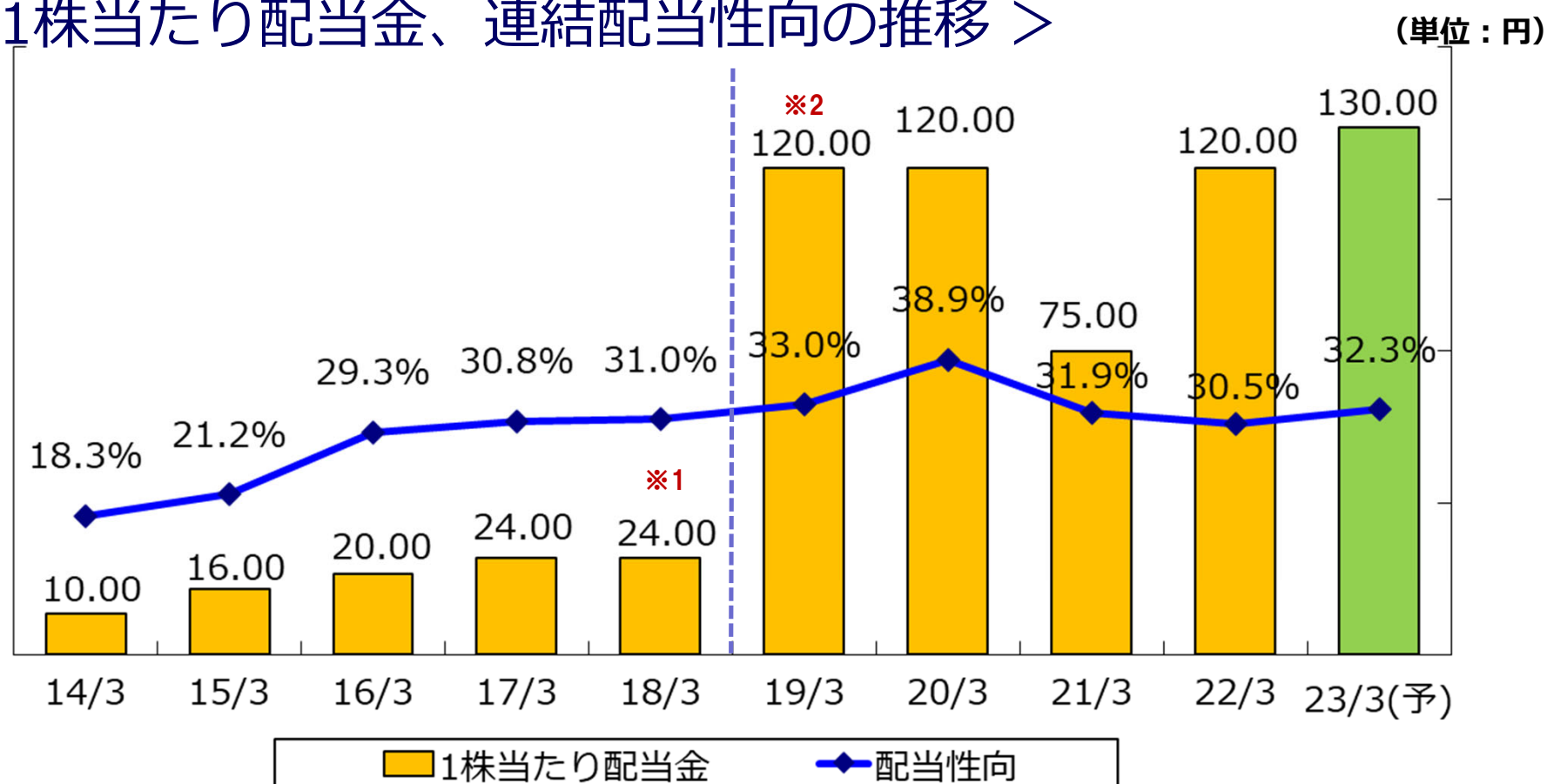
（単位：億円）



■ 配当方針

- ・ 連結業績を反映した配当を基本方針とし、
連結配当性向30%を基準とした利益配分を目指す。

< 1株当たり配当金、連結配当性向の推移 >



※1：100周年記念配「2円」を含む ※2：2018年10月に株式併合（5株→1株）を実施

トピックス

■ つばきグループの成長ロードマップ

<変革成長>

革新的な手法(M&A含む)により従来の事業規模を拡大

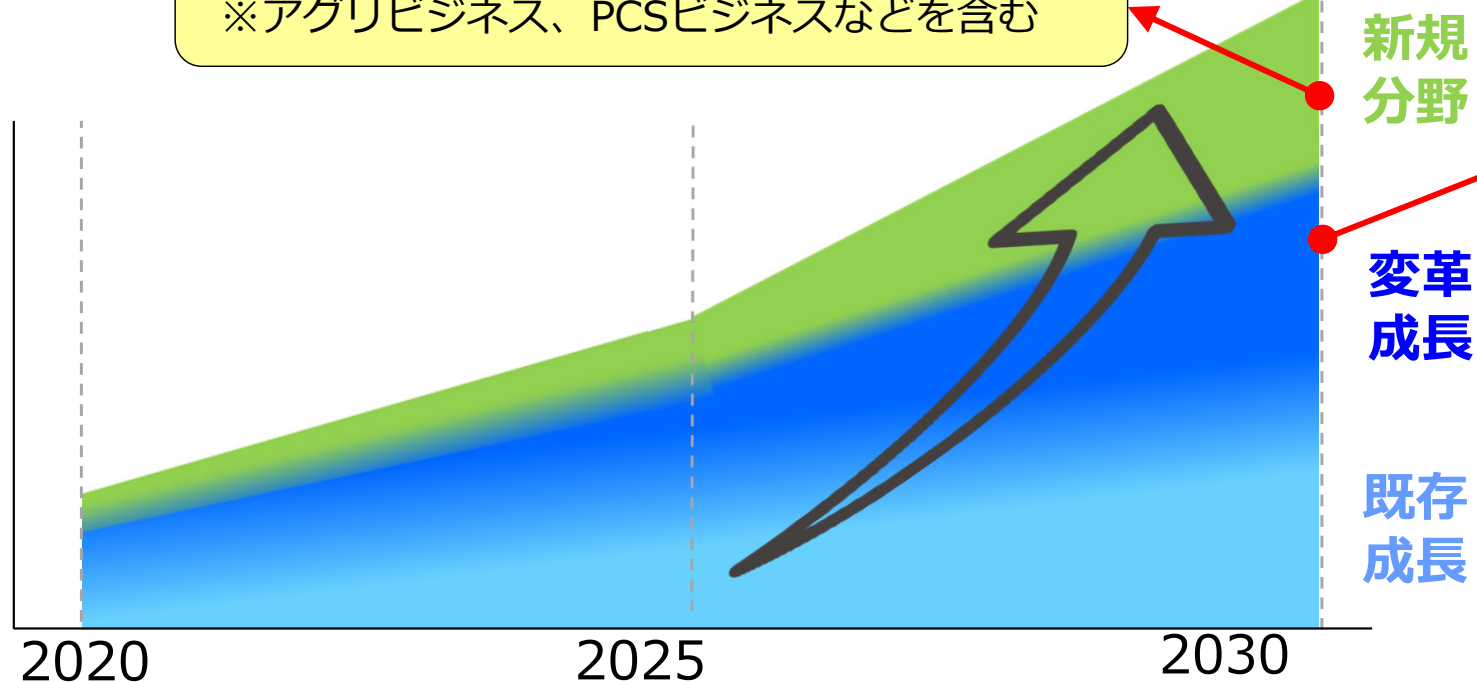
<新規分野>

新技術開発、M&A、アライアンス等により事業領域を拡大

売上高
5,000億円規模

新事業開発室が主に担当

※アグリビジネス、PCSビジネスなどを含む



マテハン事業の
再生医療、
モビリティ事業の
4輪用セレクト
ブルクラッチ、
MC事業の
民生用特化機器
など

14. 新事業開発について

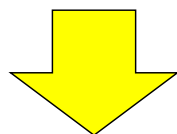
24

■ つばきグループの新事業戦略（アンゾフの成長マトリクス）



■ 新事業探索の活動概要

- 外部コンサルタントより技術資産（公開特許）を活用した新規事業の立上げサービスを受ける
 - 100件超えのアイデア出し、35件を新事業コンセプトととしてまとめた
- 新事業コンセプトのうち、成長期待の高いものについて、当社経営層とディスカッション。
 - 既存事業とのシナジーも重視
 - 樫本チエインが参入する意義が重要（既存技術の活用・応用など）



2022年4月 **新事業開発室 発足**

新事業の探索から、**新事業を開発していくフェーズへ移行**



「人にやさしい社会の実現」
「安心・安全な生活基盤の構築」
「地球にやさしい社会の創造」
社会課題解決型の新事業を開発

■ チェーン事業

＜超小形RS®ローラチェーン＞

世界最小チェーンの開発



■ モーションコントロール事業

＜SMU（スマートモーションユニット）＞

人にやさしい社会の実現に向けて

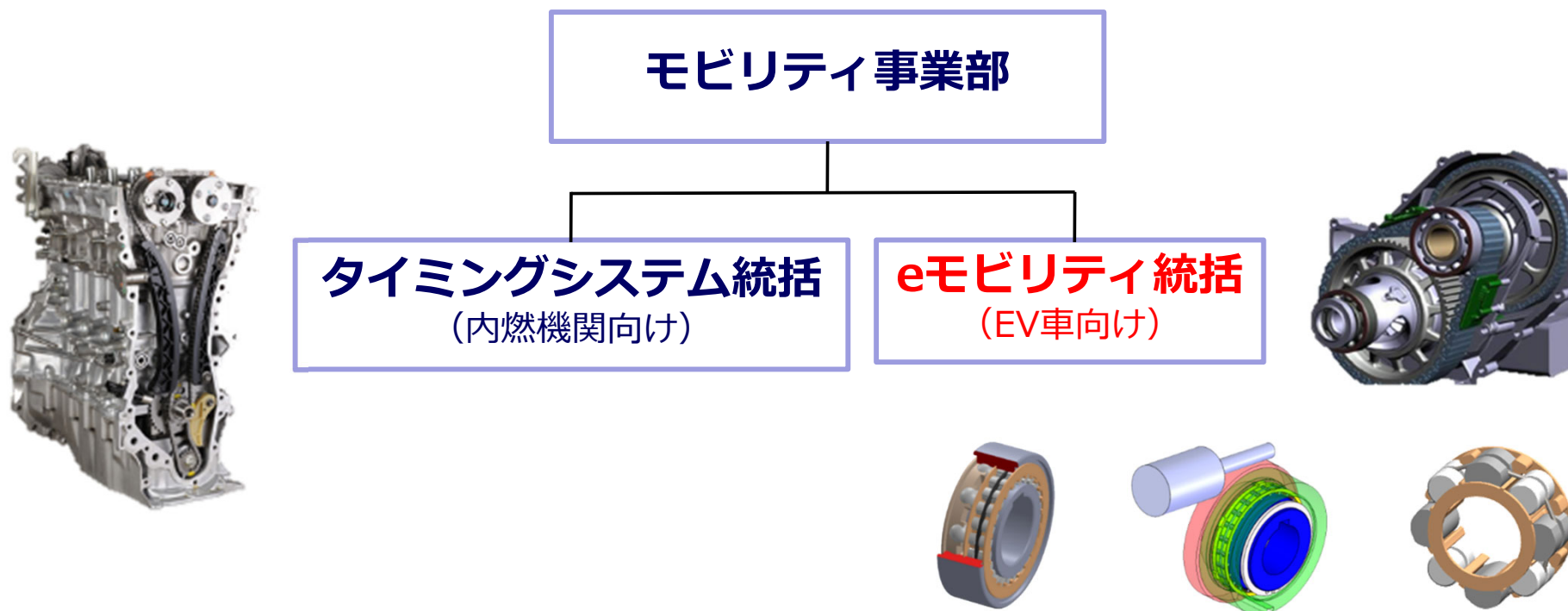
医療、農林業、建築、工場など
人の動きをサポート

■ モビリティ事業

<eモビリティ統括を新設>

EV車用カムクラッチビジネスの取り組みを強化

⇒ 2統括組織とし、役割明確化による迅速な対応を図る



※当社グループホームページに「Tsubaki Mobility Solutions」を開設

■ マテハン事業

＜システムインテグレーションビジネスの強化＞

① KISAI BASE開設（21年10月）

物流エンジニアリング事業の戦略的
開発拠点（「株式会社流通サービス」と共同）



規模感、作業性等を実体験として視認できるMR（複合現実）

② 自律搬送ロボット（AMR）の販売パートナー契約締結（22年1月）

ForwardX Robotics社（中国）との販売パートナー
契約締結により、最適な物流システムを提供



AMR Flex シリーズ

＜医療分野への参入（神戸医療産業都市）＞

③ 「神戸医療産業都市」に研究開発拠点を新設（21年12月）

再生医療・細胞治療に関する
自動化装置・管理システムの研究開発を推進



本資料に記載している事業計画および業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。